

はじめに

日本都市計画家協会会長 小林英嗣

JSURP（日本都市計画家協会）は緩やかで創発的な集団の新しい体制で、「開いた（社会・地域・分野・年代など）JSURP への転換と会員同士の横のつながり」の強化を進めてきました。JSURP 創設世代との対話、新たな課題を解きほぐす開かれたカレッジ・交流、地域社会や活動家と結びついた諸事業を展開することができたことは大きな成果です。

一方、設立から 25 年が経過し、会員の減少などにみられる構造的な問題の解決には至っておらず、中期的展望を見据えた経営・運営戦略の見直しが急務になっています。

新型コロナウイルスという未曾有の危機（都市のレジリエンシーに関わる世界規模の壮大な社会実験とも言える）を迎えた今、国内外の社会と価値観、そして都市観は転換期にあります。将来の社会や都市、そして都市計画のありかたを見据えながら、都市計画家とは何か、共有すべきビジョン・ミッションについて、日本都市計画家協会の歴史と社会変化を深く吸い込みつつ、あるべき姿考えたい。ポストコロナ社会への長い長い地獄なき道程の中、これまでの都市計画家協会の経験と実践を踏まえ、活かしながら、with コロナ、post コロナ時代/社会における「ミッション」「行動」「事業」、そして日本や地域の回復ロードマップなどについての議論とその共有・発信が肝要です。

都市計画・まちづくりはますます多様化し、多くの領域との接点をつくることや共同・創発が大切になり、拡大と捉えるのか複合領域が生まれると見るか、意見が分かれそうです。同時に再度「都市計画家」とは何かが問われ、JSURP の役割も「複合領域を包含する創造的な協会」を目指すのか、多くの「協会」へ分派するのかが問われそうですが、「複合領域包含・包摂型協会」を目指したいものです。

2020 年度事業方針

日本都市計画家協会副会長 高鍋 剛

2020 年度は、25 周年記念事業を皮切りに、今後の JSURP のあり方について展望をする 1 年にする予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延により、世界的な時代の転換点になりそうです。このような社会状況とコロナ禍での制限された状況であることを踏まえ、今年度の活動については JSURP の今後の活動を展望しつつ、今実行すべき活動を見極め、慎重に行動する 1 年にします。

こうした考えのもとに基本的な取り組みとして「基盤を構築する取り組み」と「次代を展望する取り組み」に大分し活動を展開します。

まず、「基盤を構築する取り組み」では、財務構造の見直し、支部や地方会員の活性化、効果的な情報発信を行います。特に、財務構造の見直しでは、企業寄付を集めることが厳しい状況であることを踏まえて、新たなファンドレイジングの方策を模索します。また、地方会員の活性化と情報発信は、移動の制限される状況下において、WEB を効果的に活用することにより、これまで十分にできなかった遠隔地同士の会員や地域の交流を促進し、その結果も含めて JSURP の活動を広く広報していく方策を検討します。

また、「次代を展望する取り組み」では、コロナ禍における事業の見直し、異分野交流によるイノベーション、草の根まちづくりへの支援、ポストコロナのまちづくりのあり方の検討を進めます。まず 25 周年事業や全国まちづくり会議は当初の開催予定を見直し、次年度への延期を含め方法を再検討します。一方でカレッジなどをオンラインで開催するなど、この時期ならではの方法で実施します。

また、本年 5 月に移転した新オフィス入居者群やシティラボメンバーなど、異分野企業との連携を促進し、ポストコロナのまちづくりや事業展開について模索するなど、JSURP が次代に向け一歩を踏み出すきっかけにしていきます。

来年は、東日本大震災から 10 年の節目にあたり、かつ延期された東京オリンピックも開催されるメモリアルな年になりそうです。今年度は、そのような節目の年への準備期間とも位置づけて、十分な土台の構築と、新たな展開と方向を見定める 1 年にしていきます。

■ 役 員

会 長 : 小林英嗣
副会長 : 高鍋 剛
 : 山本一馬
専務理事 : 渡会清治
常務理事 : 中川智史
事務局長 : 千葉葉子
アカデミックアドバイザー : 小泉秀樹

■ 理 事

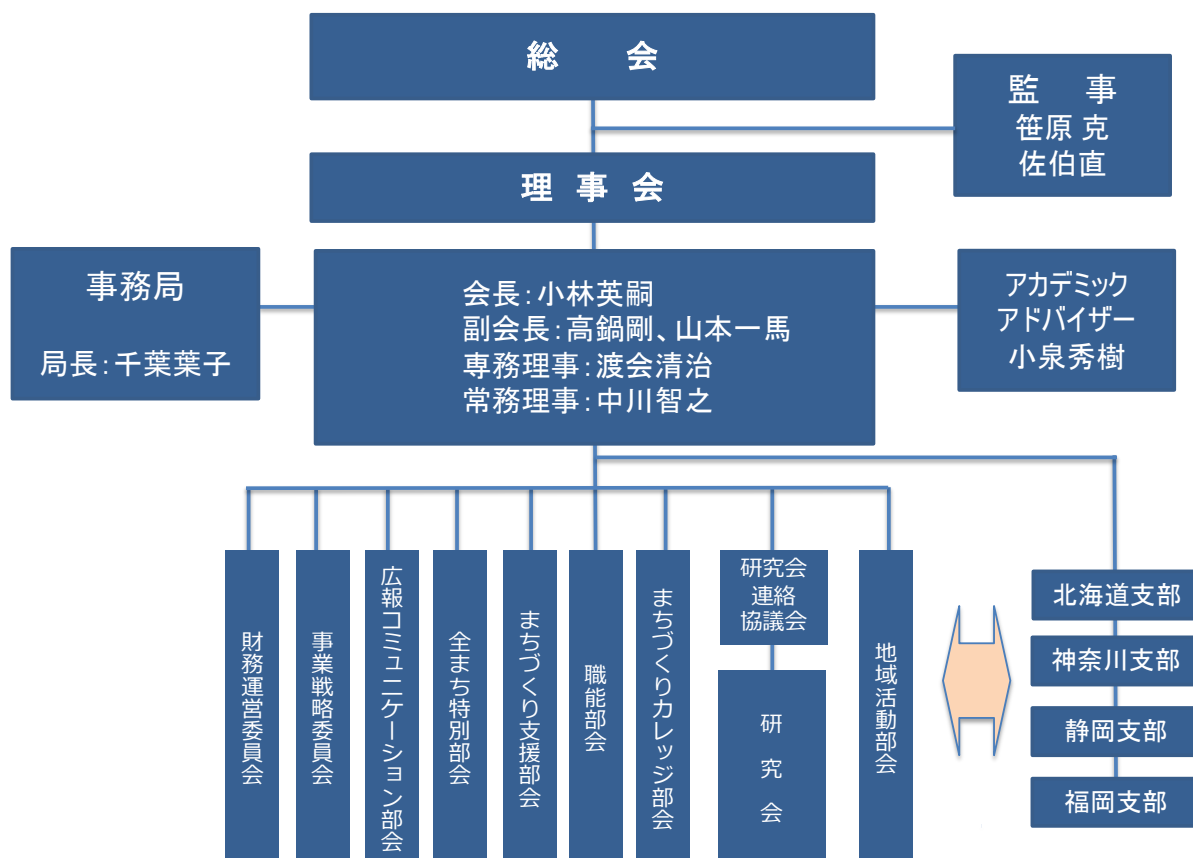
安藤 裕之	井上 忠佳	内山 征	海野 芳幸
江田 隆三	江井 仙佳	加藤 孝明	神谷 秀美
小泉 秀樹	小林 英嗣	小林 真幸	近藤 洋介
坂井 猛	佐谷 和江	鈴木 俊治	須藤 敦司
園田 聡	高鍋 剛	高野 哲矢	田島 泰
千葉 葉子	土肥 英生	中川 智之	中西 正彦
長谷川隆三	原 拓也	臂 徹	平井 一步
平下 貴博	富士川一裕	堀江 佑典	牧 敦司
三谷 繭子	守 茂昭	山本 一馬	山本 俊哉
渡會 清治			

■ 監 事

佐伯 直 笹原 克

(五十音順)

■ 2020-2021 年度 JSURP 組織体制



■ 2020-2021 年度 JSURP 活動体制

基盤活動	財務運営委員会	・ 予算編成方針の検討 ・ ファンドレイジング検討・実施	中川智之
	事業戦略委員会	・ 事業戦略、組織運営の検討 ・ 新オフィスを活用した企業連携等	原 拓也
	広報コミュニケーション部会	・ 情報発信全般の戦略構築、実施 ・ webサイト、プランナーズ発行	長谷川隆三
公益事業	全まち特別部会	・ 全まち事業の企画、運営 (毎年、開催地の特性に沿って委員会設置)	渡会清治
	まちづくり支援部会	・ 地域でのまちづくり活動支援 ・ まちづくり出前講座 ・ 災害復興支援	内山 征
	地域活動部会	・ 支部活動の活性化支援 ・ 地域間連携事業の展開	坂井 猛
共益事業	職能部会	・ e-job事業、認定都市プランナー運営 ・ 4団体連携事業の推進	江田隆三
	まちづくりカレッジ部会	・ まちづくりカレッジ運営 ・ セミナー等の企画運営	園田 聡
	研究会連絡協議会	・ 研究会相互の情報共有、研究会のあり方 ・ 活動成果の公表、社会への提言	加藤孝明
その他特別委員会		・ 提言、震災復興、国際交流など随時必要に応じ設置	
支部	北海道、神奈川、静岡、福岡	・ 各支部における研究、公益・共益事業活動。 ・ 支部間連携事業	